

みなまた 元気な 事業所ファイル

第4巻

社会福祉法人 照徳の里 まどか工房

所在地 水俣市月浦269番13号

設 立 平成12年2月

従業員数 14人

事業内容 障がい福祉サービス事業（就労継続支援B型、自立訓練、生活介護）



平成17年に開設したまどか工房（萩嶺三千代施設長）は、利用者の能力、体力に合わせた作業・支援を行っている就労支援の事業所です。当施設の利用者の自立に向けた取り組みや、思いを聞きました。

◆当施設の事業

まどか工房は、利用者一人ひとりに寄り添いながら、自立訓練や生活介護などを提供している他、地域で安心して暮らせるように就労継続支援B型などの事業を中心に行なっています。具体的には、せんべいやあおさ佃煮などの加工食品の生産や、サラダ玉ねぎなどの農作業を行なっています。商品は、水俣市内外の道の駅などで販売しています。販路拡大を目指して、東京などで開催される商談会にも積極的に参加しています。



◆安心安全な商品を作るため
食品を扱う施設なので、衛生管理には一番気を使っています。このような日々の取り組み。

組みから、平成27年度模範衛生施設として、（一社）熊本県食品衛生協会から表彰されました。これからも衛生管理を徹底して、安心安全な商品を作っていきます。

◆幅広い世代の人との交流

毎年、中学生の職場体験や看護学校などの施設見学を受け入れ、多くの皆さんとの交流を行なっています。

また、障がい者への理解を深めるために始めた「まどか夏祭り」は、地域の皆さんの祭りとして定着してきました。今後も地域に愛される施設を目指していきます。

◆利用者の自立に向けて

私たち職員の一番の目標は、利用者が自立して生活ができるようになること。そのためには、職員も日々勉強です。利用者の皆さんは、それぞれに魅力的な力を持っています。その人に合った生き方を見つけてられるよう、これからも「目配り、気配り、心配り」を大切に支援を行っていきます。



施設の外観

自分らしく、一歩ずつ。

まどか工房は、障がいを持つ方が「自分らしく働く」ことを大切にしている就労継続支援B型事業所です。

主な活動は、お菓子や、あおさ海苔の佃煮、お漬物などを製造しています。特に、地元の素材を活かした手作りせんべいやかりんとうは地域の方々にも大人気！自分のペースで技術を学びながら、社会とつながる喜びを実感できる場所です。「将来、どんな働き方ができるかな？」と不安な方も、温かいスタッフが寄り添い、一人ひとりの得意なことを見つけるお手伝いをします。ぜひ一度、就労者を笑顔にするスタッフとアットホームな雰囲気を見学に来てください。